

森づくり最前線

福島森林管理署 玉ノ井森林事務所 森林官 伊豫田 望

玉ノ井森林事務所は福島県の中通り地方のほぼ中央、大玉村に位置し、日本百名山で有名な安達太良山（標高1,700㍎）の東側、二本松市と大玉村にかかる約5千㍎の国有林を管理しています。

安達太良山は、磐梯朝日国立公園の南端に位置し、6～7月にかけてはハクサンシャクナゲやサラサドウダン、レンゲツツジなどが咲き誇り、田中澄江著「花の百名山」の一座にも選ばれています。

山頂へは、あだたら高原スキー場の Gondola 利用により標高1,300㍎付近まで上ることができ、登山道は比



大勢の登山者が参加しての安達太良山山開き



あだたら溪谷自然遊歩道での森林探訪会

較的緩やかで登りやすいことも登山者に人気の理由の一つとなっています。5月には安達太良山の山開きが開催されますが、今年は東日本大震災の影響があったものの、大変多くの登山者で賑わいました。

安達太良山周辺の国有林は、安達太良自然休養林に指定され、スキー場やキャンプ場などの施設があり、一年を通して森林レクリエーションが楽しめます。また、秋には美しい紅葉を見せてくれる「あだたら溪谷自然遊歩道」や「遠藤ヶ滝遊歩道」は、森林環境教育の場としても利用されています。



元気いっぱいの小学生を案内して森林へ出発

当事務所管内には、最近注目されているコンテナ苗を植えた箇所があります。

採算性の厳しさが問われ続けて久しい林業ですが、コンテナ苗は、造林コストを下げようという取組みの中で考案された苗木で、従来のポットを改良したマルチキャピティコンテナという容器の中で育てられた苗木のことを指します。培地の容積が小さくて軽く、根巻きや根の変形がなく、植付作業が非常に簡単なことが大きな特徴です。

当署で開催したコンテナ苗の植栽実演会では、実際に植付作業を体験された方から、「作業が非常に簡単で楽しく植えることができた。」という感想をいただきました。

平成22年春に約4㍎植栽したカラマツのコンテナ苗は、約1年が経過したところですが、現在、順調に生育しており、今後どのように生長をしていくか継続して調査していくこととしています。

伐採した山に苗木を植え、再び伐採して利用できるようになるまでには長い期間を必要とします。林業という業界の中でもとりわけ森林整備の分野は、他に比べ新しい技術の成果が見えにくいという面が感じられます。こういった中で新しい技術を導入し、少しずつ改善し手を加えながら得られた成果を普及することは、森づくりを考える上で大切なことではないかと考えています。



コンテナ苗の植付実演会と梱包されたコンテナ苗